

なぜ
必要?

知ってほしい ネブライザーのお話



監修：帝京大学 名誉教授 石塚洋一

ネブライザー療法とは？

ネブライザー療法は、器械を使って薬液を細かい霧状にして、患部に直接あてる治療法です。副鼻腔炎は、粘膜のはれをしずめたり、鼻汁を外に出して鼻の通気をよくするのが治療の基本です。**ネブライザーを行うと、薬が患部に直接届くので、効率よく薬が作用することが期待できます。**基本的な治療のひとつですので、お医者さんの指示があった場合は受けるようにしましょう。

ネブライザーを使う
鼻の病気

急性副鼻腔炎

慢性副鼻腔炎

アレルギー性鼻炎

花粉症 等



副鼻腔炎って何？

副鼻腔というのは、ほっぺたや眼と眼の間(眉間の奥)にある空洞のことです。かぜや花粉症で鼻に炎症を起こすと、この空洞にも炎症が起きます。

炎症が起こると、痛んだり、はれたり、鼻水などの分泌液が出たりします。

この時期を急性副鼻腔炎といいます。なかなか治らなかつたり、症状が持続する状態を慢性副鼻腔炎といいます。



ネブライザーによる副鼻腔炎の治療は？

1

できるだけ鼻水をためないように、こまめに鼻をかみましょう。

2

鼻汁やうみを取り、換気を促し、洗浄します。(毎日耳鼻科でやってもらうのが最もよいでしょう。)

3

鼻の通りが良くなったところで、ネブライザーという器械を使って霧状の薬液を鼻腔に噴霧します。

ネブライザーの空気の流れ

副

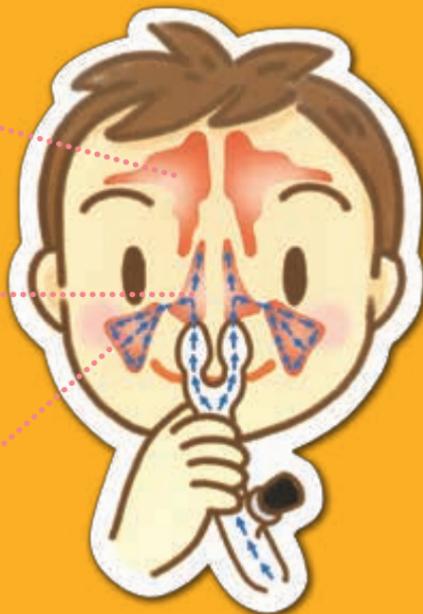
ぜんとうどう
前頭洞

鼻

しこつどう
篩骨洞

腔

じょうがくどう
上顎洞



鼻の働き

鼻には「においをかぐ」と同時に「呼吸をする」というたいせつな役割があります。吸い込んだ空気を暖め、湿度を保ち、空気中のゴミなどを排除するフィルター役目も果たします。口は食べるための器管、鼻が呼吸するための器官なのです。

ネブライザー療法上の注意は？

- 1 両方の鼻腔の入口にネブライザーのノズルを軽くあてます。あまり深く入れると鼻血を出すおそれがあります。
- 2 ネブライザー療法中は鼻で息をすい、口から出してください。
- 3 薬(霧状)が横からもれないように注意してください。
数分間、薬を噴霧します。



ネブライザー療法の途中や
終わったあと、いつもと
違うなと感じたら、
すぐにお医者さんか
看護師さんに
申し出てください。





施設名